

産業廃棄物実態調査票(令和5年度実績)【その1】

形式2

千葉県
建設業

調査票番号

ID :
PW :

右記の＜記入注意事項＞をご確認の上、調査票に記入してください。

事業所の概要

事業所名					
所在地					
代表者(事業所長)氏名			記入者 (<small>ふりがな</small> 部課、氏名)		
記入年月日	令和6年	月	日	電話番号	- -

県内元請工事の有無

貴社が元請施工者として請負い令和5年度に完成した千葉県内の工事はありますか（出来高工事を含む）。該当する番号に○を付けてください。

1. 元請工事あり2. 元請工事なし

上記の「事業所の概要」を記入し、別添「廃棄物に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。

工事実績

元請完成工事高（令和5年度、消費税を含む）

貴社が元請施工者として請負い令和5年度に完成した千葉県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事含む)を記入してください。

千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万		※共同企業体（J.V）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請完成工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。
								万円/年	

令和5年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。
※自ら再生利用した物、有償等あるいは無償で引き渡した副産物も対象としてください。

1. 発生した。2. 発生しなかった。

上記の「事業所の概要」「工事実績」を記入し、別添「廃棄物等に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。

裏面の調査票【その2】に貴事業所から発生した産業廃棄物等の状況について記入してください。

その産業廃棄物等の発生場所（工事場所）について、各区ごとにその割合（発生量）を右の枠内に入力して下さい。

＜記入注意事項＞

1. 全般的事項
- 本調査は、千葉県内において事業活動によって発生した産業廃棄物、特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡しした副産物が対象となります。
- 本調査の対象期間は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間です。
- 裏面の調査票【その2】には、貴社が千葉県内で施工した全ての元請工事（出来高工事含む）から発生する産業廃棄物、副産物について記入してください。共同企業体（J.V）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請完成工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入してください。
- 産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票【その1】の「事業所の概要」欄を記入し、別添「廃棄物に関する意識調査」に回答の上、ご返送ください。
- 調査票の電子データは、株式会社グリーンエコのホームページからダウンロードできます。
- https://www.gr-eco.co.jp/chiba-sp/DL.html
- 調査票の回答は、同封の返信用封筒または電子メール（chiba-sp@gr-eco.co.jp）をご利用ください。また、Webでも調査に回答いただけます。上記URLからweb調査のバナーをクリックしてください。なお、Webでご回答の場合は、調査票左上に記載のIDとパスワードが必要となります。
- 調査票の記入方法についてのお問い合わせは、下記の調査受託業者へお願いします。
- 調査受託業者：株式会社グリーンエコ（0120-380-121）
2. 調査票【その1】
- 元請完成工事高は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入してください。

地域名	市町村名	割合
千葉・市原地区	千葉市	%
	市原市	%
東葛飾地域	柏市	%
	松戸市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市	%
葛南地域	船橋市	%
	習志野市、八千代市、市川市、浦安市	%
印旛地域	佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町	%
香取・海浜地域	銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、神崎町、多古町、東庄町	%
山武・長生・夷隅地域	東金市、茂原市、勝浦市、大網白里市、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、白子町、長柄町、長南町、睦沢町、長生村、大多喜町、いすみ市、御宿町	%
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市	%
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町	%

裏面へ

< 調査票の記入要領・記入例 >

建設業

調査対象期間

●この調査の対象工事は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）に施工した建設工事です。
この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～⑪までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする工事と廃棄物

●この調査では、県内で施工した元請工事から発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）が記入の対象となります。
また、事業系一般廃棄物は含みません。
●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、「廃棄物分類表」シートに掲げてありますので参考にして下さい。

発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。

○自社で焼却している場合、発生した廃棄物とは焼却前のものです。（記入例Cを参考にして下さい）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○自社で脱水している場合の発生した廃棄物とは脱水前のものです。（記入例Eを参考にして下さい）
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。
＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（１００－脱水後の含水率％）÷（１００－脱水前の含水率％）

調査票（その2）の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして調査票（その2）を記入して下さい。

「廃棄物分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず○をつけて下さい。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

⑩処理後の処分方法
1 再利用・再生利用している
2 民間の処分場で埋立処分
3 公共の処分場で埋立処分

⑪最終処分先の都道府県
都道府県名を記入して下さい。

区分	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量	④方法番号	⑤中間処理後量	⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号	⑩処理後の処分方法	⑪最終処分先の都道府県	⑫資源化用途
行番			百万 十万 万 千 百 十 一 単位	1次処理 2次処理 3次処理	百万 十万 万 千 百 十 一 単位				1次処理 2次処理 3次処理			
記入例：A	1・鉄筋くず	1 2 1 0	9 kg (t)			W 1 ㈱△△産業	〇〇 (町)			1・2・3		10
記入例：B	2・木くず	0 8 1 0	3 0 kg (t)			U 1 □□商店	〇× (市)	G		① 2・3		30
記入例：C	3・廃プラスチック	0 6 0 0	1 0 kg (t)	A		S 1 ㈱×□	〇△ (町)			1・2・3	〇〇県	
記入例：D	4・廃プラスチック	0 6 0 0	5 kg (t)			U 1 ■▼㈱	×● (市)	I		① 2・3		30
記入例：E	5・ベントナイト汚泥	0 2 2 0	6 0 0 kg (t)	B	1 0 0	S 1 ■■㈱	▼× (県) ▲〇 (市)			1・2・3	□□県	
記入例：F	6・コンクリートのがれき	1 5 0 1	1 2 0 kg (t)			U 1 △△㈱	×▽ (市)	G		① 2・3		50
記入例：G	7・石綿含有（非飛散性）のがれき	2 4 4 0	5 0 kg (t)			S 1 ㈱〇〇	□〇 (市)			1・2・3	〇〇県	
欄	8											

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

記入例：A

・工事現場から鉄筋くずが年間9 t発生したが、すべて、〇〇町の㈱△△産業に売却した。
・相手先では、鉄鋼材料として再生利用している。

記入例：B

・工事現場から建設木くずが年間に2 t車で30台分（すべて満杯）発生した。
・1台当たりの重量が1 t程度であるため、重量に換算すると、30 tである。
・これは、〇×市にある□□商店に料金を払って処理を委託した。
・相手先では、破碎チップ化し、燃料として再生利用している。

記入例：C

・工事現場から廃プラスチックが年間10 t発生した。
・すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間で1 t程度であり、〇△町にある㈱×□の処分場で埋立処分した。

記入例：D

・工事現場からプラスチックくずが年間5 t発生した。
・これは、×●市にある■▼㈱に中間処理を委託した。
・委託先では圧縮して固形燃料を製造している。

記入例：E

・工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
・脱水後の汚泥量は、100 t（含水率70％）であった。
・脱水前の量は、把握していないので正確でないが、脱水前の含水率が95％であるため計算すると600 tとなる。
・処理後の汚泥は、▼×県▲〇市内に管理型■■㈱で埋立処分した。

記入例：F

・工事現場からコンクリートのがれき等が10 tダンプで12台分発生した。重量に換算すると120 t程度である。
・これは、×▽市に破碎プラントを保有する△△㈱に中間処理を委託した。△△㈱では破碎後、骨材として再生利用している。

記入例：G

・工事現場から石綿（非飛散性）が含まれたがれき等が50 t発生した。
・これは、石綿含有産業廃棄物の処理が認められた□〇市にある安定型処分地を保有する㈱〇〇で埋立処分した。

記入について

●記入対象は、事業活動によって発生する副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）です。

●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。

●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：破碎
H：分級
I：圧縮
J：溶解
K：切断
L：焼成（セメント原材料）
M：堆肥化（発酵）
N：銀回収
O：コンクリート固型化
T：金属（鉄）回収
U：非鉄金属回収
V：濃縮
W：油化
X：選別
Y：固形燃料化

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理>
V1：自社で再利用した。
V2：自社現場内で利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
S2：公共の処分場で直接埋立処分した。

<市町村へ委託処理>
R1：市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立した。
R5：市町村の清掃工場で焼却等の中間処理をした（ごみ収集を含む）
R6：市町村の清掃工場でリサイクルした。

<その他>
Z9：その他

⑫資源化用途コード表

10：鉄鋼原料
20：非鉄金属等原材料
30：燃料
31：木炭
41：飼料
42：肥料
43：土壌改良材
50：土木・建設資材
51：再生木材・合板
60：パルプ・紙原材料
70：ガラス原材料
80：プラスチック原材料
81：再生タイヤ
90：セメント原材料
91：再生油・再生溶剤
92：中和剤
93：高炉還元
98：その他

廃棄物分類表

建設業

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）

廃棄物の種類	分類番号	具体例
燃え殻	0100	
焼却灰	0110	石炭灰、廃棄物の焼却灰など【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入】
廃カーボン・活性炭	0120	廃カーボン、廃活性炭など
汚泥（泥状のもの）	0200	
有機性汚泥	0210	製紙スラッジ、下水汚泥、ビルピット汚泥、余剰汚泥、糊かす、うるしかすなど
無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈殿汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
建設汚泥	0221	掘削工事で発生した汚泥【しゅんせつ土砂、建設発生土は除く】
廃油	0300	
一般廃油	0310	
鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、絶縁油、廃塗料（液状）など
動植物性油	0312	魚油、鯨油、なたね油、やし油、ひまし油、大豆油、豚脂、牛脂など
廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など
固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど
油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの（タンクスラッジ、オイルスラッジなど）
油付着物	0350	油のしみたウエス、油紙くずなど
廃酸	0400	酸性を示す液状物（エッチング廃液、写真定着液、ホルマリンなど）
廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物（脱脂廃液、写真現像液、検査廃液など）
廃プラスチック類	0600	
廃タイヤ	0601	廃タイヤ
自動車用プラスチックバンパー	0602	自動車用プラスチックバンパー
廃農業用ビニール	0603	廃農業用ビニール
プラスチック製廃容器包装	0604	プラスチック製廃容器包装
発泡スチロール	0605	発泡スチロール
発泡ウレタン	0606	発泡ウレタン
発泡ポリスチレン	0607	発泡ポリスチレン
塩化ビニル製建設資材	0608	塩化ビニル製建設資材
石綿含有物（普通産廃）	2430	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（ビニル床タイルなど）
紙くず	0700	
建設工事の紙くず	0710	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた紙くず（壁紙、障子紙、紙袋など）
ダンボール	0711	ダンボール
石綿含有物（普通産廃）	2450	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
木くず	0800	
建設工事の木くず	0810	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた木くず（型枠、足場材、伐採材など）
伐採材・伐根材	0811	伐採材・伐根材
パレット	0820	パレット
石綿含有物（普通産廃）	2460	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
繊維くず（天然繊維くず）	0900	
建設工事の繊維くず	0910	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた繊維くず（畳、絨毯、カーテンなど）【注：合成繊維は廃プラ類に該当】
石綿含有物（普通産廃）	2470	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
ゴムくず（天然ゴムくず）	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラ類に該当】
金属くず	1200	鉄鋼または非鉄金属の破片、研磨くず、切削くずなど
鉄くず	1210	鉄くず
非鉄金属くず	1220	非鉄金属くず

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く） つづき

廃棄物の種類	分類番号	具体例
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300	
ガラスくず	1310	白熱電球【蛍光灯は廃電気機械器具に該当】、窓ガラス、びん類、グラスウールなど
陶磁器くず	1320	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
コンクリートくず（がれき類を除く）	1321	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
石膏ボード	1322	石膏ボードくず
石綿含有物（普通産廃）	2420	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（スレート板、パーライト板、石綿セメント円筒など）
鉱さい	1400	鋳物砂、不良鉱石、サンドブラスト廃砂、キューポラのノロなど
スラグ	1401	高炉・転炉・電気炉等の残さ
がれき類	1500	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片など
コンクリート破片	1501	コンクリート破片
アスファルト・コンクリート破片	1502	アスファルト・コンクリート破片
石綿含有物（普通産廃）	2440	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
ばいじん	1800	大気汚染防止法第2条第2項のばい煙発生施設及び汚泥、廃油等の産業廃棄物の焼却施設の集じん施設で回収したもの
建設混合廃棄物	2000	建設廃棄物のうち工事現場内及び自社にて分別不可能なもの
安定型建設混合廃棄物	2010	安定型産業廃棄物（廃プラ、金属くず、ガラスくずなど）が混在してるもの
管理型建設混合廃棄物	2020	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物が混在しているもの
石綿含有物（普通産廃）	2410	石綿の含有量が0.1%を超えるものが混在しているもの
シュレッダーダスト	2300	廃電気機械器具の破砕物
水銀使用製品産業廃棄物	2500	水銀体温計、水銀式血圧計、水銀温度計、蛍光灯など
廃自動車	3000	廃自動車
廃二輪車	3010	廃バイク、廃自転車
廃電気機械器具	3100	家電リサイクル法の対象機器を除く廃電気機械器具
廃電池類	3500	廃電池、廃バッテリーなど

2. 特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	分類番号	具体例
廃油	7000	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油
廃酸	7100	pH2.0以下の酸性廃液
廃アルカリ	7200	pH12.5以上のアルカリ性廃液
感染性廃棄物	7300	感染のおそれのある産業廃棄物（感染性一般廃棄物を含む）
特定有害産業廃棄物	7400	
廃PCB	7410	PCBを含むトランス、コンデンサー、安定器など
廃石綿等（飛散性）	7421	吹き付け石綿、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
指定下水汚泥	7422	下水道法施行令第13条の4の規定により指定された汚泥
鉱さい（有害物質を含む）	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
燃え殻（有害物質を含む）	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
廃油（有害物質を含む）	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油
汚泥（有害物質を含む）	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥
廃酸（有害物質を含む）	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
廃アルカリ（有害物質を含む）	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
ばいじん（有害物質を含む）	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
廃水銀	7400	産業廃棄物又は水銀使用製品から回収した廃水銀